

2019年9月27日

豊岡市議会

議長 関貫 久仁郎 様

人口減少対策等調査特別委員会

委員長 奥村 忠俊

## 委員会調査中間報告書

本委員会に付議された事件について、豊岡市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり中間報告をいたします。

### 記

#### 1 付議事件

移住・定住促進、結婚・多子出産促進、子育て支援、産業振興などの人口減少・地域活性化対策に関する調査研究等

#### 2 重点調査事項

- (1) 移住・定住促進に関する事項
- (2) 結婚支援、多子出産応援、子育て支援に関する事項
- (3) 産業振興等、地域活性化対策に関する事項
- (4) 人口減少等にかかる諸課題に関する事項

#### 3 委員会調査経過

本委員会は、2018年11月13日開催の臨時会において委員の選出、同日の委員会において正副委員長を互選し、今日までに委員会を8回開催し、重点調査事項に基づき調査、協議等を行った。

11月16日開催の委員会においては重点調査項目を見直し、それまで3項目であったものに修正を加えるとともに、1項目追加し、全4項目とした。

また、7月には、人口減少が進む鳥取県において移住定住推進に取り組む鳥取県八頭郡八頭町、同郡智頭町及び倉吉市を訪問し、3市町における移住定住推進施策と地域活性化の取り組みについて調査研修を行った。

さらに、8月には、但東振興局を訪問し、移住された方の声を聴くとともに、振興局における人口減少対策の取り組みについて調査研修を行った。

最後に開催した9月20日の委員会において、これまでの当局報告内容、委員会での協議内容及び委員会調査研修結果について精査を行い、今期設定した重点調査事項について、本報告書をもって1年間の総括とすることとした。

【委員会の開催経過】

開催・実施年月日	主 な 内 容
2018年11月13日	正副委員長を選出し、次回の委員会開催について協議を行った。
2018年11月16日	当局から委員会所管事務について概要説明を受け、今後の調査方法及び今期の重点調査事項について協議を行った。
2018年12月21日	<p>当局から、戦略体系A（移住・定住促進に係る戦略）、戦略体系B（結婚支援、多子出産応援に係る戦略）について説明を受け、質疑を行った。</p> <p>個別事業としては、豊岡市学校施設整備計画及び豊岡市における幼稚園・保育園のあり方計画について説明を受け、質疑を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p>
2018年1月28日	当局から、人口、高齢化率、児童生徒数、商工業関係団体数等の推移、ならびに人口減少率の高い竹野及び但東地域における現状と課題について説明を受け、質疑を行った。
2019年3月19日	<p>当局から、戦略体系A（移住・定住促進に係る戦略）、戦略体系B（結婚支援、多子出産応援に係る戦略）に係る事業及び予算について説明を受け、質疑を行った。</p> <p>さらに、管外行政視察研修に係る実施方法及び日程等について協議を行った。</p>
2019年4月17日	<p>当局から委員会所管事項について概要説明を受け、今後の調査方法及び重点調査事項について協議を行った。</p> <p>さらに、管外行政視察研修に係る視察先の確認、視察内容及び日程等について協議を行った。</p>
2019年6月28日	<p>当局から、委員会所管事項に係る進捗状況と今後の計画について説明を受け、質疑を行った。</p> <p>また、委員会重点調査事項について協議を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p> <p>さらに、管外行政視察研修の日程、内容確認及び管内行政視察研修の日程、視察先及び内容等について協議を行った。</p>
2019年7月11日～12日	鳥取県八頭郡八頭町、同郡智頭町及び倉吉市を訪ね、管外行政視察研修を行った。（下記4-(1)のとおり）
2019年8月9日	<p>但東振興局を訪ね、但東地域における人口減少対策の取り組みについて説明を受け、質疑を行った。</p> <p>また、市外から移住された方を参考人として招致し、移住に至った経緯等を聴き、意見交換を行った。</p>
2019年9月20日	当局から、委員会所管事項に係る進捗状況と今後の計画について説明を受け、質疑を行った。

開催・実施年月日	主 な 内 容
	さらに、管外行政視察調査報告書及び委員会調査中間報告書について確認、協議を行った。

#### 4 管内・管外行政視察研修

##### (1) 鳥取県八頭郡八頭町、同郡智頭町及び倉吉市を視察

7月11日午前、鳥取県八頭郡八頭町を訪ね、「八頭イノベーションプロジェクト」について研修を受け、同日午後、同郡智頭町を訪ね、「移住定住推進、地域活性化の取り組み」について研修を受けた。さらに翌12日には倉吉市を訪ね、「移住定住推進施策」について研修を受けた。(詳細は、行政視察調査報告書のとおり)

##### (2) 但東地域を視察

市内でも人口減少率の高い地域の一つでもある但東地域を視察し、現況と課題を把握した。

前段では、移住された方の「生の声」を聴くべく、参考人として2人の方を招致し、移住の経過や思いを聴き意見交換を行った。移住された方の意見として、「都会の生活が嫌になった人が田舎に来る。都会と同じ便利さを求めても人は来ない。田舎にあり、都会にはないもの、景色、空気、人、食べ物…、何をアピールできるか。」「転職して田舎暮らしを始めようとする人は、将来の不安を抱えている。仕事の紹介も充実させては。」「移住しようとする人は、すぐ居住できる物件を求めているように思う。そういう物件が増えればいいのでは。」等本音の言葉を聴いた。

後段では、但東地域における人口減少対策の取り組みについて、但東振興局から成果と課題の説明があった。「但東に移住定住する人が増えている」を戦略目的とし、移住促進住宅運営事業、教育民泊推進事業、空き家活用促進、地域固有情報発信事業等に取り組んでいる。これらの事業は市主体のものもあるが、行政区、地区、コミュニティ組織及び地域内の団体と協働で実施しているものも多くあり、行政と地域とのつながりがますます重要になっていると感じた。

#### 5 重点調査事項に基づく委員会調査

##### (1) 移住・定住促進に関する事項

委員会では、移住・定住促進に関する事項について、事業計画及び実施状況、事業の検証評価などについて当局から説明を求め質疑を行った。

従来からの「仕事」「住まい」「暮らし」等の情報を発信するWEBサイト「飛んでるローカル豊岡」の展開、移住定住の相談・支援等を積極的に取り組んでいく一方、今後は劇団「青年団」の移転に伴うアーティスト・クリエイター等転入者の増加及び専門職大学の開学に伴う若者の転出抑制と新たな転入者の増加が期待される。

##### (2) 結婚支援、多子出産応援、子育て支援に関する事項

ハートリーフ推進室から未婚率の抑制と出生率の増加を目標に、結婚促進・多子出産

支援について概要の説明を受けた。今年度から出会い機会創出事業「はーとピー」が市の直営事業に、また、子育てママの活躍機会促進事業補助金を新設した。今後においても、結婚、出産から子育てに至る総合的な支援を積極的に推し進めていくよう要望する。

### (3) 産業振興等、地域活性化対策に関する事項

今年度新たに設置されたワークイノベーション推進室から、ジェンダーギャップ解消の推進、1月に策定したワークイノベーション戦略に基づく事業の概要、市職員キャリアデザインの推進等について説明を受け質疑を行った。

女性が活躍できる社会の実現に向けて、ジェンダーギャップの解消が人口減少対策に結びつくよう今後の成果に期待したい。

### (4) 人口減少等にかかる諸課題に関する事項

空き家情報、結婚支援、ジェンダーギャップ解消の推進等の人口減少対策にかかる市の施策について、引き続きホームページ等を最大限に活用した情報発信に努められたい。

## 6 終わりに

当委員会は、2017年11月、移住・定住促進、結婚支援、多子出産応援、子育て支援、産業振興などの人口減少・地域活性化対策に関する調査研究等を行う目的で設置された。

人口減少は、本市に限らず今や国内のほとんどの市区町村で起こっている深刻な問題となっている。その問題と正面から向き合い、対処していくことがこれからの自治体には求められている。

「豊岡で暮らす価値を見出す」その一つとして演劇を用いた施策を推進する。またそれに伴い専門職大学の誘致・開学も含め、今後人口増につながるような施策等が期待される場所である。

しかし何より今ここに住んでいる人々が元気に楽しく生き生きと暮らしていることが、外から見れば魅力があり、移住したいと思わせることにつながっていくと考える。そのため、その活動の中心となる地域コミュニティ組織等の活発な取り組みに期待するところである。市としても最大限にバックアップ、支援をするよう要望する。

また、移住者向けの空き家情報の発信も重要であるため、市内の居住可能な空き家物件のさらなる掘り起こし、そして「仕事」「住まい」「暮らし」をトータルにした魅力ある情報発信に努められたい。

人口減少対策にかかる諸施策については、一朝一夕で効果が出るものはほとんどない。住む人が満足しているのと、市外の人を引きつける魅力、その両方をバランスよく展開した今後の施策の取り組みに期待したい。